

生態系機能・生物多様性研究の発展に必要な情報と知見

1. 生物多様性を支える生態系の基盤情報

- (1) 土地利用変化（土地被覆，自然度，林齢）
- (2) 生態系の規模の変化（各種生態系の面積，保護地域の面積，連続性）

2. 生物多様性を支える生態系の環境および健全性

- (1) 各種物質の蓄積量（炭素，窒素，水などの蓄積量と変化）
- (2) 各種物質のフロー（炭素，窒素，水などの物質循環とその変化）
- (3) 気候変動（温暖化）の影響評価（フェノロジーなど）

3. 生物多様性の指標

- (1) 生態系タイプ，生態系の一次生産力など
- (2) 生物の種数，生物間相互作用を支える生態系環境



リモートセンシングの貢献:

時間的・空間的に連続した生態系情報(データ)の取得と整備

リモートセンシングと地上での生態学研究の連携:

画像・スペクトルデータを生態学的な情報に変換する知見の探索と蓄積

土地被覆・時系列変化

- 生物多様性の現状と変化の基盤となる土地被覆（沿岸含む）を速やかにかつ高解像度で提供。
 - 2005–2010ALOS（JAXAが業務として作）
 - 1985–90TMデータ提供からはじめる
 - 1960空撮：重点領域
- 地理院MOEJAXAの貢献に期待
- 高空間分解能画像を公開
 - TM, SPOT, ASTER, OPS, AVNIR12, PRISM, MOS12
- PALSARのモザイクを絶賛

地上検証

- センサネットワーク
 - フィールドサーバ、PENを拡大・維持、民間の協力が必要
 - 調査地情報の地理座標を取得、高解像度画像を提供、JJJJ
- 地上検証点
 - 写真出せ、20年前の写真、同じ場所でGPS
 - DCP参考に

人材育成・情報共有

- スーパーサイトを軸に人材育成(リモセンツールなど)技術の共有・標準化、G-COEに期待
- 海洋リモセンの範囲
- 多額の国税を費やす無駄な衛星の打ち上げ反対
- 生態系学へ貢献したRSのレビューによる今後の衛星開発計画への提案
- 貢献できそうな衛星計画の関与・発言

リモセン分科会への意見

- リモートセンシングへの要望
 - リモートセンシング分科会への提案
 - などなど
-
- 村岡(岐阜大)までメールください。
muraoka@green.gifu-u.ac.jp